

令和 6 年度 事業報告

- (1) 法人本部 P 1 ~ P 3
 - (2) 足立あかしあ園 P 4 ~ P 6
 - (3) 綾瀬あかしあ園 P 7 ~ P 9
 - (4) 舎人あかしあ園 P 10 ~ P 12
 - (5) 花畑あかしあ園 P 13 ~ P 15
 - (6) 竹の塚あかしあの杜 P 16 ~ P 19
 - ①「きずな」(施設入所支援)
 - ②「のぞみ」(生活介護)
 - ③「なごみ」(短期入所)
 - (7) あいのわ支援センター P 20 ~ P 23
 - ①「支援センター(竹の塚)」(居宅介護・重度訪問介護・移動支援)
 - ②「谷中ハウス・ショートステイ谷中・綾瀬ハウス・青井ハウス」(GH・SS)
 - ③「あいのわ相談センター」(指定特定相談支援事業)
 - (8) 神明障がい福祉施設 P 24 ~ P 27
 - ①「神明福祉園」(生活介護)
 - ②「神明福祉作業所」(生活介護・就労継続支援 B 型・就労移行支援・就労定着支援)
 - ③「神明デイサービスセンター」(地域活動支援センター)
- 《足立区指定管理施設》
- (9) 大谷田障がい福祉施設 P 28 ~ P 30
 - ①「足立区大谷田就労支援センター」(就労継続支援 B 型・生活介護)
 - ②「足立区大谷田ホーム」(GH)

令和6年度 事業報告

法人本部

I 総括

1. 年度方針・理念等

～ありのままのあなたと いつも向き合い、支え合い のぞみに向かって わを広げ～
住みよい環境づくりを進めます

2. 重点課題

- ・法人の中期経営計画(ガバナンス強化、業務効率化、採用・育成強化等)実現に向けた取組推進
- ・法人WLB推進ビジョン～最高の職場環境が、最高の利用者サービスへ～実現のための取組推進
- ・採用活動の強化、法人の魅力発信のための広報活動強化等、採用に直結する取り組みの検討
- ・ICT活用や業務見直しによる標準化・効率化及び働き方改革の推進

3. 総評

本年度は、3年に一度の報酬改定が施行され、障害福祉サービス費全体の改定率は+1.12%とされたものの、当法人の主要事業である生活介護の算定構造に大幅な変更があり、多大な影響を受けました。再点検し新たな加算の算定を行いました。今後も実務効率化の対策を継続して実施してまいります。

法人は前年度末を以て設立30年を迎え、これまで支えてくださった方々へ感謝をお伝えする場として、9月8日に30周年記念式典を挙行了しました。また、本年度より各施設の地域交流会を順次再開すると共に、施設内イベントも定期的に開催しています。新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策を継続しつつも、日常や定例の行事等、ご利用者の満足感を高められる取り組みを法人全体で取り組んでまいります。

一方、法人本部事務局においては、関連する法律および通達に従い実務処理を行うと共に、東京都の新たな処遇改善施策の施行に伴う諸規定の変更を実施しました。また、引き続き、法人本部と足立・綾瀬・舎人あかしあ園、あいのわ支援C、大谷田障がい福祉施設との事務体制一体化を実施しました。

II 運営管理

1. 法人組織(拠点・サービス区分)

- (1) 法人本部
- (2) 足立あかしあ園 (生活介護:定員60名)
- (3) 綾瀬あかしあ園 (生活介護:定員58名)
- (4) 舎人あかしあ園 (生活介護:定員50名)
- (5) 花畑あかしあ園 (生活介護:定員40名)
- (6) 竹の塚あかしあ園
 - きずな (施設入所支援:定員40名)
 - のぞみ (生活介護:定員60名(施設入所支援40名含む))
 - なごみ (短期入所:日々定員4名)
- (7) あいのわ支援センター
 - あいのわ支援センター竹の塚 (居宅介護・重度訪問介護・移動支援)
 - 公益事業 (入浴サービス・タイムケア等)
 - 谷中ハウス (共同生活援助:定員13名)
 - ショートステイ谷中 (短期入所:日々定員3名)
 - 綾瀬ハウス (共同生活援助:定員5名)
 - 青井ハウス (共同生活援助:定員10名)
 - あいのわ相談センター (特定相談支援)
- (8) 神明障がい福祉施設
 - 神明福祉園 (生活介護:定員40名)
 - 神明福祉作業所 (生活介護:定員20名・就労継続支援B型:定員30名)
 - 神明福祉作業所「あいのわしごとセンター」(就労移行支援:定員8名・就労定着支援)
 - 神明デイサービスセンター (地域活動支援センター:日々定員20名)
- (9) 大谷田障がい福祉施設
 - 大谷田就労支援センター (生活介護:定員10名・就労継続支援B型:定員30名)
 - 大谷田ホーム (共同生活援助:定員5名)

2. 職員の状況

職種	事務局長	事務員	その他					合計
常勤(嘱託含)	1	5	0					6
非常勤	0	1	0					1
合計	1	6	0	0	0	0	0	7
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、理事長1 ・他、記載すべき特記事項なし。 							

3. 法人経営改革の推進

(1) 中期経営計画実現の為の組織・推進体制

- ・中期経営計画R5～7年度版に基づく、ガバナンス強化・業務効率化、採用・育成強化、施設改修等計画、各サービスの拡充や安定化及び改善等の重点施策を展開。
- ・法人内理事を中心に事業部・委員会等の体制を確立。

(2) 職員育成の推進と人事制度・処遇及び育成制度

- ・人事評価制度において情意・役割・目標(成果)の項目毎に評価。
- ・キャリアパス等級制度に応じた研修育成制度に基づき、外部研修への参加推進。
- ・新規職員に対してプリセプター(教育・相談担当)を配置。又、入職前後に適宜内外の研修を実施。
- ・中堅職員に対して階層ごとの内部研修プログラムを実施。

(3) 業務標準化・効率化推進及び体制強化、その他取組

- ・全拠点への運営面・事務面双方の内部監査を行い、月次での確認・指導を実施。
- ・事務処理標準化・効率化を目的に、法人本部と足立あかしあ園・綾瀬あかしあ園・舎人あかしあ園・あいのわ支援C・大谷田障がい福祉施設との事務一体的管理の体制を構築し連携強化を推進。
- ・前年度に引き続き、ハラスメント防止策として「管理職ハラスメント研修」を11月7日に実施。

(4) 各種規程の見直しと改正

- ・東京都の居住支援特別手当事業施行に伴う「居住支援特別手当」・「居住支援特別手当外手当」創設のために「給与規程」及び「非常勤職員賃金規程」、「嘱託職員就業規則」を改正。
- ・定員変更に伴う「竹の塚あかしあ杜(生活介護)運営規程」を改正。
- ・サービス提供時間等の表記変更、施設入所支援及び共同生活援助においては地域連携推進会議設置のために「(各事業)運営規程」を改正。
- ・定年等の定め追加のため「非常勤職員就業規則」を改正。
- ・理事長の報酬額の変更のため「役員報酬規程」を改正。
- ・育児介護休業法改正に伴う変更として「育児休業及び育児短時間勤務に関する規則」を改正。

4. 会議等

(1) 理事会・評議員会

- 第1回理事会(令和6年6月4日)
 - ・令和5年度 事業報告・決算報告
 - ・諸規程(給与規程・非常勤職員賃金規程等)改正
 - ・第3期評議員選任・解任委員選任
 - ・定時評議員会開催
- 定時評議員会(令和6年6月19日)
 - ・報告事項のみ
- 第2回理事会(令和6年9月24日(書面による決議))
 - ・竹の塚あかしあ杜(生活介護)定員変更
 - ・竹の塚あかしあ杜(生活介護)運営規程改正
- 第3回理事会(令和6年11月22日)
 - ・令和6年度 上半期事業報告・決算報告
 - ・諸規程(運営規程・非常勤職員就業規則)改正

- 第4回理事会(令和7年3月11日)
 - ・令和7年度 事業計画・当初予算
 - ・第16期 理事長の選出
 - ・第16期 常務理事の選出
 - ・第16期 理事の追加選任(案)
 - ・施設長級人事
 - ・役員等賠償責任保険契約
 - ・役員報酬規程改正(案)
 - ・育児休業及び育児短時間勤務に関する規則
 - ・役員等賠償責任保険契約
 - ・臨時評議員開催

- 第1回臨時評議員会(令和7年3月11日)
 - ・第16期 理事の追加選任
 - ・役員報酬規程改正

- (2) 監事監査(令和6年5月7日・11月1日)
- (3) 会計監査人監査(令和6年5月2・7日、令和6年12月11日(期中監査))
- (4) 法人役員会(理事長・総合施設長・事務局長) (実施回数:23回)
- (5) 法人運営会(理事長・各管理職) (実施回数:12回)
- (6) 主任会(各主任) (実施回数:12回)
- (7) 苦情解決第三者委員会(委員・理事長・各管理職) (実施回数:1回)

5. その他

- ・令和6年9月8日(日)に法人30周年記念式典を挙げる。
- ・法人30周年記念特設webサイトを開設。
- ・法人30周年記念動画を制作(カメラ・ビデオ、及びドローン飛行による撮影)

令和6年度 事業報告

足立あかしあ園

I 総括

1. 年度方針・理念等

～人を大切にし、利用者と共に成長する施設づくりを行います～
将来に向けた今できる取り組みの実現

2. 重点課題

- ・個々のニーズに合わせた活動内容の見直し
- ・更なる支援の質の向上に向けた業務改善及び効率化
- ・役割・担当等を通じた職員の経験・成長機会の創出
- ・医療的ケア実施に向けた体制の準備

3. 総評

本年度は利用者個々のニーズに応じた個別支援計画を基本にそれぞれの状況に合わせた支援を行いました。活動内容の見直しを行い、レクリエーション活動を増やして利用者が企画運営に参画する機会を設け、グループの垣根を越えて交流を図る機会を創出しました。活動スケジュールについても余暇時間を設定することでメリハリのある生活を送り、一人ひとりが楽しさややりがいを感じられるよう取り組みました。また、地域行事の参加や施設外での活動を通して積極的に地域の方との交流を図りました。

施設業務全般では前年度実施した業務改善・効率化の安定化を図るとともに、職員に外部団体との連携の役割や情報収集の機会を設けることで主体的に施設運営に参画できるよう取り組みました。

次年度も引き続き、支援の質の向上や医療的ケア実施体制の整備の取り組みを実施してまいります。

II 運営管理

1. 利用者の状況

(1) 利用者数(男女別)

サービス区分	本年度			前年度			増減		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
生活介護	25	27	52	27	27	54	△2	0	△2
			0			0	0	0	0
合計	25	27	52	27	27	54	△2	0	△2

(2) 利用者数(年代別)

サービス区分	20未満	20代	30代	40代	50代	60以上	合計	平均年齢
生活介護	0	11	11	11	18	1	52	41.6
							0	
合計	0	11	11	11	18	1	52	41.6

(3) 利用者数(障害支援区分別)

サービス区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
生活介護	36	10	5	1	0	0	0	52
								0
合計	36	10	5	1	0	0	0	52

(4) 出席状況

サービス区分	本年度					前年度		
	計画数	出席	出席率	延登録	実人員	出席率	延登録	実人員
生活介護	13,140	10,333	78.6%	55	43.3	80.8%	54	43.6
								0.0

2. 職員の状況

職種	施設長	副施設長	支援員	看護師	理学療法士	事務員	その他	合計
常勤(嘱託含)	0	1	17	2	0	0	0	20
非常勤	0	0	15	0	0	0	0	15
合計	0	1	32	2	0	0	0	35
備考	・内、育児・介護休業等休職者1名 ・他、記載すべき特記事項なし。							

3. サービス評価・リスクマネジメント

(1) サービス評価

- ・苦情解決第三者委員
利用者との面談等を通じた助言によりサービス向上を図っている。 (年間訪問回数:1回)
- ・福祉サービス第三者評価
本年度受審あり (直近受審年度:令和6年度)

(2) リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット16件 ・事故報告22件(内、東京都・足立区への報告5件)
リスクマネジメント委員会を構成し、事故報告内容及び再発防止策等の情報共有を実施。

(3) 虐待防止

- 虐待防止委員会及び身体拘束の適正化のための委員会を構成し、自己チェックの実施、並びにその内容を基に内部研修を実施。外部の人権研修等に参加。

4. 防災・防犯等の緊急時対策

- ・日常点検及び備蓄食料等の在庫を確認。
- ・火災や地震、水害を想定した訓練を実施。 (年間実施回数:6回)
- ・消防計画・非常災害計画等を整備し、毎年度見直しを実施。

5. 健康管理

(1) 利用者健康管理

- ・日常の健康管理として必要時にバイタルチェック・体重測定・血圧測定を実施。
- ・口腔内吸引・服薬解除・座薬挿入・軟膏塗布・点眼等の医療的ケアを実施。
- ・嘱託医師による検診を実施。 (内科:12回)
- ・年1回、健康診断を実施。 (検査項目:血液検査・心電図・尿検査・胸部レントゲン)
- ・希望の利用者に対して、インフルエンザの予防接種を実施。
- ・理学療法士による機能回復・維持訓練に関する相談を実施。
- ・日本歯科大学付属病院の歯科医師による摂食指導を実施。 (年間実施回数:3回)

(2) 職員健康管理

- ・年1回、健康診断を実施。 (検査項目:一般健康診断+腫瘍マーカー検査)

6. 食事提供

- ・衛生管理の為、点検やO157予防対策、中心温度測定、細菌検査等の対応を実施。
- ・嚥下機能に応じた食形態及びアレルギー等禁止食材の対応を実施。
- ・嗜好調査に結果等を踏まえた給食委託業者との定期協議を実施。
- ・グループ希望メニューや選択メニューを月1回実施。

7. 通所状況

- ・通所バス利用人数:51人(運行台数:8台) ・自主通所:1人

8. 地域との連携・実習等

(1) 地域行事

- ・7月に地域交流会を実施。
- ・近隣小学校の挨拶運動に参加。特別支援学校との交流会を実施。地域の行事に参加。

(2) ボランティア (年間延べ人数:23人)

(3) 現場実習・介護等体験 (各大学・専門学校) (年間延べ人数:18人)

(4) 特別支援学校・在宅者等の実習生 (年間延べ人数:0人)

9. 職員研修

- ・外部研修(全国社会就労センター協議会・東京都社会福祉協議会等) (年間延べ参加人数:21人)
- ・内部研修(感染症研修、嚥下研修、虐待防止研修等) (年間実施回数:6回)

10. 家族との連携

(1) 保護者会

- ・全体連絡会 (年間実施回数:2回)

(2) 個別面談等

- ・利用者の誕生日を基本に6ヶ月毎、個別支援計画書に関する面談を実施。

(3) その他

- ・紙媒体の連絡帳とwebによる連絡帳配信システムを実施。

11. 広報

- ・施設広報誌「いっばいっば」の発行

(年間発行回数:4回)

12. 開催行事

- ・30周年記念行事・全体行事(夏祭り・バレンタイン行事)を実施。

III 福祉サービスの提供

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

(1) Aグループ(グループテーマ:自律)

- ・洗濯や封入封緘や貼付等の受注作業、染めによる自主生産作業を実施。
- ・生活の場についての勉強会や体操等の個別活動を実施。

(2) Bグループ(グループテーマ:共栄)

- ・洗濯や洗車等の受注作業、カレンダーや縫製による自主生産作業を実施。
- ・生活の場についての勉強会や体操等の個別活動を実施。

(3) Cグループ(グループテーマ:共生)

- ・洗濯等の受注作業、ペイントによる自主生産作業の実施。
- ・創作や体操、園芸、外活動(地域清掃)、調理、鑑賞活動を実施。

2. サービス内容(活動別)

(1) クラブ活動

- ・専門講師により、訪問又はリモートにて実施。
(運動・音・アートフラワー・パステルシャインアート・書道)

(2) プール活動

- ・新型コロナウイルス感染症防止対策のため、未実施。(年間実施回数:0回)

(3) 時間外支援

- ・通常の営業時間外での延長支援サービスの実施。(年間延べ人数:15人)

(4) 就労支援・創作活動

サービス区分		本年度(年間)	前年度(年間)	増減
生活介護	就労支援事業収入	981,222	959,692	21,530
	就労支援事業支出	981,236	959,750	21,486
	(内、工賃支給額)	712,820	734,060	△ 21,240
	⇒1人平均工賃(月)	1,178	1,403	△ 225

- ・主な工賃支給額の増減理由
記載すべき大きな変動は該当しない。

令和6年度 事業報告

綾瀬あかしあ園

I 総括

1. 年度方針・理念等

～みんなでほっといっしょにいきいきと～

安心・信頼を大切に 共に考え学び お互いの自己実現を目指します

2. 重点課題

- ・利用者自身や生活環境の変化を捉えた継続的な支援の実施と関係機関との連携強化
- ・業務の標準化を進め、サービス提供をスムーズに行うための体制・環境整備の構築
- ・地域の一員としての役割を担い、地域共生の取組みの推進
- ・医療的ケア実施に向けた準備・体制の整備

3. 総評

個別支援計画書に基づいたサービス提供を行い、個々のニーズに則した支援や環境整備・体制整備を行うと共に、職員間や関係機関との連携強化を行い、利用者の目的の実現や生活環境の変化を踏まえた課題解決に努めました。また、職員のマニュアルや役割分担等を見直し、業務の標準化を推進しました。

「ふおらん」の外部出店や他施設との連携により、売上の向上と共に更なる利用者の活躍の場が創出できました。また、地域団体と合同でフードパントリー事業による地域公益的活動を行い、地域に根差した施設としての地域共生の取組みを進めました。

医療的ケアを必要とする対応は本年度実施はありませんでしたが、今後も利用者の生活の安定や地域ニーズに応えることを目的とし、継続した対応が行える体制整備を図ります。

II 運営管理

1. 利用者の状況

(1) 利用者数(男女別)

サービス区分	本年度			前年度			増減		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
生活介護	31	19	50	29	20	49	2	△1	1
			0			0	0	0	0
合計	31	19	50	29	20	49	2	△1	1

(2) 利用者数(年代別)

サービス区分	20未満	20代	30代	40代	50代	60以上	合計	平均年齢
生活介護	1	16	16	5	7	5	50	36.8
							0	
合計	1	16	16	5	7	5	50	36.8

(3) 利用者数(障害支援区分別)

サービス区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
生活介護	31	15	4	0	0	0	0	50
								0
合計	31	15	4	0	0	0	0	50

(4) 出席状況

サービス区分	本年度					前年度		
	計画数	出席	出席率	延登録	実人員	出席率	延登録	実人員
生活介護	12,192	9,784	80.2%	51	40.9	82.9%	50	41.5
								0.0

2. 職員の状況

職種	施設長	副施設長	支援員	看護師	理学療法士	事務員	その他	合計
常勤(嘱託含)	1	0	15	1	0	0	0	17
非常勤	0	0	15	0	0	1	0	16
合計	1	0	30	1	0	1	0	33
備考	・内、育児・介護休業等休職者0名 ・他、記載すべき特記事項なし。							

3. サービス評価・リスクマネジメント

(1) サービス評価

- ・苦情解決第三者委員
利用者との面談等を通じた助言によりサービス向上を図っている。 (年間訪問回数:1回)
- ・福祉サービス第三者評価
本年度受審なし (直近受審年度:令和5年度)

(2) リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット 10件 ・事故報告書 16件(内、東京都・足立区への報告 1件)
リスクマネジメント委員会を構成し、事故報告内容及び再発防止策等の情報共有を実施。

(3) 虐待防止

- 虐待防止委員会及び身体拘束の適正化のための委員会を構成し、自己チェックの実施、並びにその内容を基に内部研修を実施。外部の人権研修等に参加。

4. 防災・防犯等の緊急時対策

- ・日常点検及び備蓄食料等の在庫を確認。
- ・火災や地震等を想定した訓練及びAED使用や通報に関する訓練を実施。 (年間実施回数:12回)
- ・消防計画・非常災害計画等を整備し、毎年度見直しを実施。

5. 健康管理

(1) 利用者健康管理

- ・日常の健康管理として検温、必要時にバイタルチェック、月1回の体重測定・血圧測定を実施。
- ・服薬介助・坐薬挿肛・褥瘡処置・吸入・軟膏処置等の医療的ケアを実施。
- ・嘱託医師による検診を実施。 (内科:実施回数11回)
- ・年1回、健康診断を実施。 (検査項目:血液検査・心電図・尿検査・胸部レントゲン)
- ・理学療法士による機能回復・維持訓練に関する相談を実施。
- ・日本歯科大学附属病院の歯科医師による摂食指導を実施。 (年間実施回数:3回)

(2) 職員健康管理

- ・年1回、健康診断を実施。 (検査項目:一般健康診断+腫瘍マーカー検査)

6. 食事提供

- ・衛生管理の為、点検やO157予防対策、中心温度測定、細菌検査等を実施。
- ・嚥下機能に応じた食形態及びアレルギー等禁止食材の対応を実施。
- ・嗜好調査の結果等を踏まえた、給食委託業者との月1回の定期協議を実施。
- ・グループ希望メニューや選択メニューを月1回実施。

7. 通所状況

- ・通所バス利用人数:50人(運行台数:8台) ・自主通所:0人

8. 地域との連携・実習等

(1) 地域行事

- ・6・9・12・3月に地域交流行事を開催。
- ・近隣地域の行事に参加。

(2) ボランティア

(年間延べ人数:52人)

(3) 現場実習・介護等体験 (社会福祉士実習及び保育実習)

(年間延べ人数:5人)

(4) 特別支援学校・在宅者等の実習生

(年間延べ人数:1人)

9. 職員研修

- ・外部研修(てんかん、虐待防止権利擁護、強度行動障害支援者研修等) (年間延べ参加人数:8人)
- ・内部研修(虐待防止、感染症予防、倫理綱領等) (年間実施回数:10回)

10. 家族との連携

(1) 保護者会

- ・全体連絡会 (年間実施回数:2回)

(2) 個別面談等

- ・利用者の誕生日を基本に6ヶ月毎、個別支援計画書に関する面談を実施。

(3) その他

- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため父母の会バザー等開催なし。

11. 広報

- ・施設広報誌「Ayase River Times」の発行 (年間発行回数:3回)

12. 開催行事

- ・入所式・20歳を祝う会をメイン会場とオンライン併用し実施。還暦を祝う会をグループ内で実施

13. 子ども食堂

- ・感染症の防止対策のため子ども食堂を中止し、フードパントリーを実施。 (年間実施回数:12回)

III 福祉サービスの提供

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

(1) Aグループ

- ・封入封緘や貼付、入力、ふおらん(ラッピング、クラフト籠)、フェイスタオル等受注作業の実施。
- ・出店イベントへの参加、納品、カフェ勤務、コーヒー作業等自主生産作業の実施。
- ・季節行事やレクリエーション活動、他施設地域交流活動の実施。

(2) Bグループ

- ・カフェ勤務、洗濯やフェイスタオル等の受注作業の実施。
- ・クラフトテープ製品による自主生産作業の実施。
- ・外出行事、ワークショップ、企画会、創作、レクリエーション、音楽、散歩、季節行事等を実施。

(3) Cグループ

- ・受注作業(洗車、洗濯)の実施。
- ・身体を取り組み、個別、創作、音楽、リラクゼーション、レクリエーション、調理等活動の実施。
- ・季節を感じられる活動や様々な体験が出来る活動の実施。

(4) Dグループ

- ・受注作業(洗濯)の実施。
- ・音楽やリラクゼーション、地域散策、創作、体操、お茶会、調理等活動の実施。
- ・季節感(音・香り・味覚等)を感じられる活動の実施。

2. サービス内容(活動別)

(1) 入浴活動

- ・リラックスできる時間の提供、ご家族の負担軽減を目的に実施。 (年間延べ人数:77人)

(2) クラブ活動

- ・専門講師による対面、一部オンラインによる実施。または支援員によるクラブ活動を実施。
(パステルシャインアート・娯楽・音楽療法・スポーツ)

(3) プール活動

- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため中止。 (未実施)

(4) 営業時間外利用

- ・通常の営業時間外での延長支援サービスの実施。 (年間延べ人数:130人)

(5) 就労支援・創作活動

サービス区分		本年度(年間)	前年度(年間)	増減
生活介護	就労支援事業収入	4,525,954	3,763,975	761,979
	就労支援事業支出	4,526,618	3,856,102	670,516
	(内、工賃支給額)	1,100,620	824,080	276,540
	⇒1人平均工賃(月)	1,994	1,959	35

・主な増減理由

JAIFA、生命保険支社販売への参加や受注販売等の増加によるもの。

- ・カフェ「ふおらん」について、法人内利用者の勤務を実施。 (営業日:毎週木・金)

令和6年度 事業報告

舎人あかしあ園

I 総括

1. 年度方針・理念等

～一人ひとりを大切に～

一人ひとりの歴史・思い・生活・個性を大切にして、夢や希望に向けた支援を行います

2. 重点課題

- ・利用者個々のニーズにあわせた安全・安心な介助方法の確立と状況に則したマニュアルの再整備
- ・前年度比+5%の出席率向上
- ・医療的ケアの利用者の受入れと安全な実施に向けた研修の実施とマニュアルの整備
- ・地域交流を目的とした「ふおらん舎人店」の活性化

3. 総評

本年度は利用者個々のニーズに合わせた個別支援を計画し、達成に向けた取組みを実施しました。安全・安心な介助方法の確立のために会議等の情報共有や内部研修を実施すると共に、ノーリフト運動の推進と介護リフトの活用により、職員の身体的な負担軽減にもなりました。また、前年度より医療的ケア利用者の受入体制の整備を実施してまいりましたが、事故等なく安全に進めることができました。

出席率向上については、年度途中の退所等により利用者数の減少があったものの、前年度を大幅に上回る出席率となりました。

ふおらん舎人店を中心とした地域向けのイベントについては夏と冬の2回実施ができ、地域の方々との交流や防災拠点としての啓発等の理解を深めることができました。

II 運営管理

1. 利用者の状況

(1) 利用者数(男女別)

サービス区分	本年度			前年度			増 減		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
生活介護	16	14	30	15	15	30	1	△ 1	0
			0			0	0	0	0
合 計	16	14	30	15	15	30	1	△ 1	0

(2) 利用者数(年代別)

サービス区分	20未満	20代	30代	40代	50代	60以上	合計	平均年齢
生活介護	0	19	4	4	1	2	30	31.0
							0	
合 計	0	19	4	4	1	2	30	31.0

(3) 利用者数(障害支援区分別)

サービス区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合 計
生活介護	26	3	1	0	0	0	0	30
								0
合 計	26	3	1	0	0	0	0	30

(4) 出席状況

サービス区分	本年度					前年度		
	計画数	出席	出席率	延登録	実人員	出席率	延登録	実人員
生活介護	7,649	6,308	82.5%	32	26.4	75.2%	34	25.6
								0.0

2. 職員の状況

職種	施設長	副施設長	支援員	看護師	理学療法士	事務員	その他	合 計
常勤(嘱託含)	1	0	9	0	0	0	0	10
非常勤	0	0	9	1	0	1	0	11
合 計	1	0	18	1	0	1	0	21
備 考	・内、育児・介護休業等休職者0名 ・他、特記事項なし。							

3. サービス評価・リスクマネジメント

(1) サービス評価

- ・苦情解決第三者委員
利用者との面談等を通じた助言によりサービス向上を図っている。(年間訪問回数:1回)
- ・福祉サービス第三者評価
本年度受審なし(直近受審年度:令和4年度)

(2) リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット48件 ・事故報告書12件(内、東京都・足立区への報告1件)
リスクマネジメント委員会を構成し、事故報告内容及び再発防止策等の情報共有を実施。

(3) 虐待防止

- 虐待防止委員会及び身体拘束の適正化のための委員会を構成し、自己チェックの実施、並びにその内容を基に内部研修を実施。外部の人権研修等に参加。

4. 防災・防犯等の緊急時対策

- ・日常点検及び備蓄食料等の在庫を確認。
- ・火災や地震、水害、その他不審者の侵入等を想定した訓練を実施。(年間実施回数:4回)
- ・消防計画・非常災害計画等を整備し、毎年度見直しを実施。

5. 健康管理

(1) 利用者健康管理

- ・日常の健康管理として毎日の検温と毎月の体重測定・血圧測定を実施。
- ・服薬介助・座薬挿入・軟膏塗布・点眼・褥瘡処置等の医療的ケアを実施。
- ・嘱託医師による検診を実施。(内科:年間実施回数:12回)
- ・年1回、健康診断を実施。(検査項目:血液検査・心電図・尿検査・胸部レントゲン)
- ・理学療法士による機能回復・維持訓練を実施。
- ・日本歯科大学付属病院の歯科医師による摂食指導を実施。(年間実施回数:3回)

(2) 職員健康管理

- ・年1回、健康診断を実施。(検査項目:一般健康診断+腫瘍マーカー検査)

6. 食事提供

- ・衛生管理の為、点検やO157予防対策、中心温度測定、細菌検査等の対応を実施。
- ・嚥下機能に応じた食形態及びアレルギー等禁止食材の対応を実施。年1回食生活状況調査実施。
- ・前月の給食の振り返りと翌月の献立の確認等のための給食委託業者との会議を毎月実施。
- ・セレクトメニュー、ご当地メニューの提供をそれぞれ月1回、リクエストメニューを年6回実施。

7. 通所状況

- ・通所バス利用人数:30人(運行台数3台) ・自主通所:0人

8. 地域との連携・実習等

(1) 地域行事

- ・地域包括支援センター主導による「絆のあんしん連絡会」に参画。
- ・ふおらん舎人店の活動として、近隣小学生向けに「木工細工イベント」を実施。

(2) ボランティア

(年間延べ人数:10人)

(3) 現場実習・介護等体験(人事院、各大学・専門・高校・中学校)

(年間延べ人数:7人)

(4) 特別支援学校・在宅者等の実習生

(年間延べ人数:7人)

9. 職員研修

- ・外部研修(てんかん基礎講座、強度行動障害基礎研修等)(年間延べ人数:6人)
- ・内部研修(腰痛予防、虐待防止、ハラスメント、契約書等読み合わせ)(年間実施回数:10回)

10. 家族との連携

(1) 保護者会

- ・全体家族連絡会2回、グループ連絡会を各1回実施。

(2) 個別面談等

- ・利用者の誕生日を基本に6ヶ月毎、個別支援計画書に関する面談を実施。

(3) その他

- ・新型コロナウイルス感染防止対策により父母の会バザー等開催なし。

11. 広報

- ・施設広報誌「人舎人(ひととひと)」の発行

(年間発行回数:3回)

12. 開催行事

- ・入所式・七夕イベント・還暦を祝う会・成人を祝う会・送別会等

III 福祉サービスの提供

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

(1) 1便Aグループ

- ・受注作業(ネジの封緘)、自主生産の作製を実施。
- ・レクリエーション(ゲーム大会)、個別活動(散歩・マッサージ)を実施。

(2) 1便Bグループ

- ・受注作業(ネジの封緘)、自主生産品の作製を実施。
- ・体操、創作活動(季節の装飾等)、リラクゼーション、レクリエーション個別活動を実施。

(3) 2便Aグループ

- ・受注作業(ゴルフティ袋詰・療育用レゴブロック洗浄)、自主生産の作製を実施。
- ・レクリエーション(ゲーム大会)、個別活動(散歩・マッサージ)を実施。

(4) 2便Bグループ

- ・受注作業(ゴルフティ袋詰)、自主生産品の作製を実施。
- ・体操、創作活動(季節の装飾等)、リラクゼーション、レクリエーション個別活動を実施。

2. サービス内容(活動別)

(1) 入浴活動

- ・リラックスできる時間の提供、ご家族の負担軽減を目的に実施。(年間延べ人数:12人)

(2) クラブ活動

- ・新たな経験や学び、交流を目的に、専門講師によるクラブ活動を実施。
(音楽活動、体操・ストレッチ)

(3) プール活動

- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため未実施。(未実施)

(4) 営業時間外利用

- ・通常の営業時間外での延長支援サービスの実施。(年間延べ人数:24人)

(5) 就労支援・創作活動

サービス区分		本年度(年間)	前年度(年間)	増減
生活介護	就労支援事業収入	167,911	90,195	77,716
	就労支援事業支出	168,712	90,388	78,324
	(内、工賃支給額)	127,250	60,780	66,470
	⇒1人平均工賃(月)	402	198	204

・主な増減理由

新規作業「療育用レゴブロック洗浄作業」の受注に伴う売上増加によるもの。

令和6年度 事業報告

花畑あかしあ園

I 総括

1. 年度方針・理念等

～らしく！たのしく！つながる”わ”～

一人ひとりが自分らしく過ごせるように地域、家族、仲間とのつながりを大切にします。

2. 重点課題

- ・グループ体制の再編成、業務効率化の取組み、地域交流等の充実した活動の提供による通所率向上
- ・虐待防止やリスクマネジメント及び利用者に対する権利擁護の強化
- ・支援員の介助技術等強化による支援の質の向上
- ・医療的ケア実施に向けた準備・体制の整備

3. 総評

本年度は利用者のグループ体制を3グループ制から2グループ制へ再編成すると共に、更なる支援の充実のため通所滞在時間をこれまでの5時間30分から6時間へ延長しました。利用者支援においては、地域交流会として「花畑フィストバンプ」を近隣事業所の協力のもと開催する他、地域公益活動「あいもつと便」や地域の演奏会への参加を通して地域の方々と交流する機会の創出による活動の充実を図りました。

虐待防止、権利擁護の取組みでは、職員セルフチェックリストやグループワークを通じて職員同士の共通理解と意識向上を図りました。介助技術の向上については介助方法を見直すと共に、技術向上のための研修を行い、支援の質の向上に努めました。医療的ケア実施に向けた準備・体制の整備については、引き続きの課題として今後も取り組んでまいります。

II 運営管理

1. 利用者の状況

(1) 利用者数(男女別)

サービス区分	本年度			前年度			増減		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
生活介護	13	8	21	15	8	23	△2	0	△2
			0			0	0	0	0
合計	13	8	21	15	8	23	△2	0	△2

(2) 利用者数(年代別)

サービス区分	20未満	20代	30代	40代	50代	60以上	合計	平均年齢
生活介護	0	7	5	4	4	1	21	38.8
合計	0	7	5	4	4	1	21	38.8

(3) 利用者数(障害支援区分別)

サービス区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
生活介護	16	5	0	0	0	0	0	21
合計	16	5	0	0	0	0	0	21

(4) 出席状況

サービス区分	本年度					前年度		
	計画数	出席	出席率	延登録	実人員	出席率	延登録	実人員
生活介護	5,499	4,787	87.1%	23	20.0	86.8%	24	20.8
合計								0.0

2. 職員の状況

職種	施設長	主任	支援員	看護師	理学療法士	事務員	その他	合計
常勤(嘱託含)	1	1	11	1	0	2	0	16
非常勤	0	0	5	0	0	0	0	5
合計	1	1	16	1	0	2	0	21
備考	・内、育児・介護休業等休職者4名 ・他、記載すべき特記事項なし。							

3. サービス評価・リスクマネジメント

(1) サービス評価

- ・苦情解決第三者委員

利用者との面談等を通じた助言によりサービス向上を図っている。 (年間訪問回数: 1回)

- ・福祉サービス第三者評価

本年度受審あり

(直近受審年度: 令和3年度)

(2) リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット22件
- ・事故報告書 15件(内、東京都・足立区への報告0件)

リスクマネジメント委員会を構成し、事故報告内容及び再発防止策等の情報共有を実施。

(3) 虐待防止

虐待防止委員会及び身体拘束の適正化のための委員会を構成し、自己チェックの実施、並びにその内容を基に内部研修を実施。外部の人権研修等に参加。

4. 防災・防犯等の緊急時対策

- ・日常点検及び備蓄食料等の在庫を確認。新施設に伴う防災訓練の確立。

- ・火災や地震、水害、その他不審者の侵入等を想定した訓練を実施。 (実施回数: 10回)

- ・消防計画・非常災害計画等を整備し、毎年度見直しを実施。

5. 健康管理

(1) 利用者健康管理

- ・日常の健康管理として検温、月1回の体重・血圧測定を実施。必要時、バイタルチェックを実施。

- ・服薬介助、点眼、褥瘡処置、口腔内吸引等の医療的ケアを実施。

- ・嘱託医師による検診を実施。 (内科: 11回、歯科: 1回)

- ・年1回、健康診断を実施。 (検査項目: 血液検査・心電図・尿検査・胸部レントゲン)

- ・希望の利用者に対して、インフルエンザの予防接種を実施。

- ・理学療法士による機能回復・維持訓練に関する相談を実施。

- ・日本歯科大学附属病院の歯科医師による摂食指導を実施。 (実施回数: 3回)

(2) 職員健康管理

- ・年1回、健康診断を実施。 (検査項目: 一般健康診断+腫瘍マーカー検査)

- ・年1回、インフルエンザ予防接種を実施。

6. 食事提供

- ・衛生管理の為、点検やO157予防対策、中心温度測定、細菌検査等の対応を実施。

- ・嚥下機能に応じた食形態及びアレルギー等禁止食材の対応を実施。

- ・嗜好調査の結果等を踏まえた給食業者との協議を毎月実施。

- ・グループ希望メニューや選択メニューを月1回実施。

7. 通所状況

- ・通所バス利用人数 21人(運行台数: 3台) ・自主通所: 0人

8. 地域との連携・実習等

(1) 地域行事

地域交流会

地域の演奏会に参加

(2) ボランティア

(年間延べ人数: 5人)

(3) 現場実習・介護等体験 (各大学・専門・高校・中学校)

(年間延べ人数: 6人)

(4) 特別支援学校・在宅者等の実習生

(年間延べ人数: 0人)

9. 職員研修

- ・外部研修(強度行動障害基礎実践、医療的ケア児等受入促進等)

(年間延べ参加人数: 12人)

- ・内部研修(虐待防止、身体拘束、感染症対策、口唇訓練等)

(年間実施回数: 10回)

10. 家族との連携

(1) 保護者会

- ・全体連絡会実施。

(年間実施回数: 2回)

(2) 個別面談等

- ・利用者の誕生日を基本に6ヶ月毎、個別支援計画書に関する面談を実施。

(3) その他

- ・希望者に紙媒体でなくwebによる連絡帳配信システムを実施。

11. 広報

施設広報誌「petal(ペタル)」の発行。

(年間発行回数:4回)

12. 開催行事

ボッチャ大会、運動会、全体調理活動、30周年記念行事(バイキング)

III 福祉サービスの提供

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

(1) Aグループ

- ・カフェ調理、店番等の実施。
- ・カレンダー、フラワーミニブーケ等の自主生産品の作製。
- ・園芸、スヌーズレン、レクリエーション等の活動の実施。

(2) Bグループ

- ・ハーバリウム、バスボム等の自主生産品作成、カフェ店番等の実施。
- ・体操、マッサージ、スヌーズレン等の機能訓練の実施。
- ・園芸、創作、体験等(レクリエーション)の感覚刺激に繋がる活動の実施。

2. サービス内容(活動別)

(1) 入浴活動

- ・リラックスできる時間の提供、ご家族の負担軽減を目的に実施。 (未実施)

(2) クラブ活動

- ・新たな経験や学び、交流を目的に、専門講師によるクラブ活動を実施。
(音楽、体操)

(3) プール活動

- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため中止。 (未実施)

(4) 営業時間外利用

- ・通常の営業時間外での延長支援サービスの実施。 (未実施)

(5) 就労支援・創作活動

サービス区分		本年度(年間)	前年度(年間)	増減
生活介護	就労支援事業収入	1,307,867	1,123,357	184,510
	就労支援事業支出	1,308,664	1,123,642	185,022
	(内、工賃支給額)	379,900	434,790	△ 54,890
	⇒1人平均工賃(月)	1,507	1,742	△ 235

- ・主な工賃支給額の増減理由
材料費高騰等の支出額の増加によるもの。

令和6年度 事業報告 竹の塚あかしあの杜

I 総括

1. 年度方針・理念等

～一人ひとりにとって“価値”ある一日を～

私たちは、一日いちにちを大切に、全力で、前向きに、誠実に取り組みます

2. 重点課題

- ・利用者健康管理と急変時の迅速かつ適切な対応
- ・デジタル機器の安定活用とサービス向上
- ・部署間連携・協働体制の推進
- ・感染症対策の強化

3. 総評

本年度は利用者の健康管理と急変時の迅速かつ適切な対応を最重点課題として、シミュレーション訓練を7回実施しました。本年度中に利用者の急変による救急搬送が16回あり、その内14件が緊急入院となりましたが、日頃の訓練成果を実践の場で活かすことができました。

デジタル機器については、記録作成支援ソフトの報酬改定対応バージョンへのカスタムアップデートや見守り支援機器の利用者の特性に合わせた設定変更、情報共有機器の運用ルール改定等を行い、機器の安定活用と更なる効率化の推進及びサービス向上を図りました。

複合型施設としてのスケールメリットを活かして、部署間・職種間の連携と協働に努めました。また、感染症対策として感染対策指針に基づく研修及び訓練を各8回実施し職員の理解を深めました。

II 運営管理

1. 利用者の状況(短期入所は別途記載)

(1) 利用者数(男女別)

サービス区分	本年度			前年度			増減		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
施設入所支援	20	20	40	20	20	40	0	0	0
生活介護	4	6	10	3	7	10	1	△1	0
合計	24	26	50	23	27	50	1	△1	0

(2) 利用者数(年代別)

サービス区分	20未満	20代	30代	40代	50代	60以上	合計	平均年齢
施設入所支援	0	0	2	10	16	12	40	54.4
生活介護	1	4	5	0	0	0	10	29.3
合計	1	4	7	10	16	12	50	49.4

(3) 利用者数(障害支援区分別)

サービス区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
施設入所支援	33	6	0	1	0	0	0	40
生活介護	9	0	1	0	0	0	0	10
合計	42	6	1	1	0	0	0	50

(4) 出席状況

サービス区分	本年度					前年度		
	計画数	出席	出席率	延登録	実人員	出席率	延登録	実人員
施設入所支援	15,695	13,711	87.4%	43	37.6	97.7%	40	39.1
生活介護	14,435	11,572	80.2%	55	44.1	89.4%	50	44.7

2. 職員の状況

職種	施設長	副施設長	支援員	看護師	理学療法士	事務員	その他	合計
常勤(嘱託含)	1	0	44	4	1	3	1	54
非常勤	0	0	9	2	0	0	7	18
合計	1	0	53	6	1	3	8	72
備考	・内、育児休業等休職者3名 ・その他は、栄養士1、環境6、運転手1							

3. サービス評価・リスクマネジメント

(1) サービス評価

- ・苦情解決第三者委員
利用者との面談等を通じた助言によりサービス向上を図っている。 (年間訪問回数:1回)
- ・福祉サービス第三者評価
本年度受審なし (直近受審年度:令和5年度)

(2) リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット37件 ・事故報告書33件(内、東京都・足立区への報告10件)
リスクマネジメント委員会を構成し、事故報告内容及び再発防止策等の情報共有を実施。

(3) 虐待防止

- 虐待防止委員会及び身体拘束の適正化のための委員会を構成し、自己チェックの実施、並びにその内容を基に内部研修を実施。外部の人権研修等に参加。

4. 防災・防犯等の緊急時対策

- ・日常点検及び備蓄食料等の在庫を確認。
- ・火災や水害を想定した訓練を実施。 (年間実施回数:6回)

5. 健康管理

(1) 利用者健康管理

- ・日常の健康管理として体温測定・血圧測定・体重測定・酸素飽和度測定を実施。
- ・鼻口腔内吸引・経管栄養・服薬・坐薬挿入・軟膏塗布・点眼・褥瘡処置等の医療的ケアを実施。
- ・嘱託医・主治医による診察を実施。[内科(月1回)、歯科(入所対象)]
- ・健康診断を2回実施。 (検査項目:血液検査・尿検査・胸部レントゲン・心電図)
- ・理学療法士・支援員と共に機能訓練を実施。
- ・日本歯科大学付属病院の歯科医による摂食指導を実施。 (年間実施回数:3回)

(2) 職員健康管理

- ・健康診断を2回実施。 (検査項目:一般健康診断+腫瘍マーカー検査)
- ・衛生委員会を構成し、職場環境改善等を検討すると共に、法定に基づくストレスチェックを実施。

6. 食事提供

- ・衛生管理の為、点検やO157予防対策、中心温度測定、細菌検査等の対応を実施。
- ・嚥下機能に応じた食形態及びアレルギー等禁止食材の対応を実施。
- ・嗜好調査の結果等を踏まえた給食委託業者との定期協議を実施。
- ・給与栄養目標量の再設定と、それに伴う塩分量の調整を実施。
- ・リクエストメニューや選択メニュー、誕生日リクエストメニュー、新メニュー、行事食、イベント食を実施。

7. 通所状況

(1) のぞみ「生活介護」

- ・通所バス利用人数:7人(運行台数:3台) ・自主通所:3人

8. 地域との連携・実習等

(1) 地域行事

- ・新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、地域交流行事を開催。

(2) ボランティア (年間延べ人数:61人)

(3) 現場実習・介護等体験 (各大学・専門学校) (年間延べ人数:14人)

(4) 特別支援学校・在宅者等の実習生 (年間延べ人数:2人)

9. 職員研修

- ・外部研修(医療的ケア、権利擁護、強度行動障害、初任者・中堅等) (年間延べ参加人数:17人)
- ・内部研修(動画視聴研修:介助技術、人材育成、緊急時想定訓練等) (年間延べ視聴人数:110人)

10. 家族との連携

- (1) 全体連絡会
本年度事業計画と前年度活動報告実施。 (年間実施回数:4回)
- (2) 個別面談等
・利用者の誕生日を基本に6ヶ月毎、個別支援計画書に関する面談を施設又は電話にて実施。
- (3) その他
新型コロナウイルスによる感染防止対策のため父母の会バザー等開催なし。

11. 広報

- ・施設広報誌「もっちりもっちり」の発行 (年間発行回数:5回)

12. 開催行事

- ・新型コロナウイルスによる感染防止対策をしながら、地域交流行事を開催。

Ⅲ-1 福祉サービスの提供(きずな「施設入所支援」)

1. サービス内容

(1) 週スケジュール

	7:00～	10:00～	13:00～	16:00～	19:00～	22:00～
日	起床、身支度 朝食、他	終日セルフ、お茶、昼食等 ※日中は日によって異なる		夕食、 自由時間	清拭、 自由時間	就寝 (2h毎見回り)
月	起床、身支度 朝食、他	ストレッチ、 お茶、入浴	昼食、歯磨き 訓練・入浴	夕食、 自由時間	清拭、 自由時間	就寝 (2h毎見回り)
火	起床、身支度 朝食、他	ストレッチ、 お茶、入浴	昼食、歯磨き 訓練・入浴	夕食、 自由時間	清拭、 自由時間	就寝 (2h毎見回り)
水	起床、身支度 朝食、他	ストレッチ、 お茶、入浴	昼食、歯磨き 訓練・入浴	夕食、 自由時間	清拭、 自由時間	就寝 (2h毎見回り)
木	起床、身支度 朝食、他	ストレッチ、 お茶、入浴	昼食、歯磨き 訓練・入浴	夕食、 自由時間	清拭、 自由時間	就寝 (2h毎見回り)
金	起床、身支度 朝食、他	ストレッチ、 お茶、入浴	昼食、歯磨き 訓練・入浴	夕食、 自由時間	清拭、 自由時間	就寝 (2h毎見回り)
土	起床、身支度 朝食、他	終日セルフ、お茶、昼食等 ※日中は日によって異なる		夕食、 自由時間	清拭、 自由時間	就寝 (2h毎見回り)

(2) その他の活動

- ・理学療法士が作成した計画に沿って個別メニューによる機能訓練を実施。
- ・週に1～2回の個別活動、買い物代行等を実施。
- ・短時間活動、出前ゲー、その他短時間外出等を実施。

Ⅲ-2 福祉サービスの提供(のぞみ「生活介護」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

(1) 医療的ケアグループ(医療的ケアが必要な方々のみで構成)

- ・体をつくる・・・トランポリン、ハンモック、体操講師による体操、PTによる体操、機能訓練
- ・心と体を整える・・・リラクゼーション
- ・体験する・・・作業、自主生産、創作、レクリエーション、利用者企画活動

2. サービス内容(活動別)

(1) サークル活動

・新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、きずなと交代で実施。 (年間実施回数:16回)

(2) プール活動

・新型コロナウイルス感染防止対策のため未実施。 (未実施)

(3) 営業時間外利用

・通常の営業時間外での延長支援サービスの実施。 (年間実施回数:1回)

(4) 就労支援・創作活動

サービス区分		本年度(年間)	前年度(年間)	増減
生活介護	就労支援事業収入	89,817	82,746	7,071
	就労支援事業支出	89,819	82,751	7,068
	(内、工賃支給額)	54,620	59,900	△ 5,280
	⇒1人平均工賃(月)	538	768	△ 230

・主な工賃支給額の増減理由

記載すべき大きな変動は該当しない。

III-3 福祉サービスの提供(なごみ「短期入所」)

1. 利用状況

	本年度	前年度	前年比
利用延べ日数	1,748	1,571	111.3%
実利用人数	421	349	120.6%

令和6年度 事業報告

あいのわ支援センター

I 総括

1. 年度方針・理念等

～あなたらしく生きるために、あなたがホッとできる”場所”を目指します～

行動指針 1.利用者本位、2.サービス向上と満足度の追求、3.品位、4.職場の雰囲気づくり、5.安全第一

2. 重点課題

- ・あいのわ支援センターの事業全体における業務改善・収支改善(中長期の課題継続)
- ・勤務体制/居宅介護における人材確保/共同生活援助兼務者、バックアップ等について
- ・組織における人材育成の仕組み案の提案、試行、実践
- ・共同生活援助における利用者の重度化対策を検討

3. 総評

近年の運営状況や地域ニーズを踏まえ、本年度より共同生活援助・短期入所の定員変更、公益事業の廃止、体制変更を行いました。現在は新規利用者が入居し、短期入所の稼働率も月ごと向上しています。共同生活援助では、兼務職員等で法人他施設のバックアップを受け、通所施設と連携を図りながら運営にあたっていますが、職員体制は依然として厳しく、人材確保は急務を迫られています。

利用者個々の状況変化は、法人内の理学療法士等のアドバイスを受けて、介助方法の見直しと生活環境の整備・工夫に取り組ましました。高齢化・重度化が進む中、安全安心な生活を維持するため、職員の介護技術の習得の他、設備導入も視野に入れた対応策を検討します。また、将来に向け、施設入所やサービスの移行といった更なる専門性を備え、課題に即した対応策に努めてまいります。

II 運営管理

1. 利用者の状況(共同生活援助以外は別途記載)

(1) 利用者数(男女別)

サービス区分	本年度			前年度			増減		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
谷中ハウス	6	7	13	6	6	12	0	1	1
綾瀬ハウス	5	0	5	4	1	5	1	△1	0
青井ハウス	0	10	10	0	10	10	0	0	0
合計	11	17	28	10	17	27	1	0	1

(2) 利用者数(年代別)

サービス区分	20未満	20代	30代	40代	50代	60以上	合計	平均年齢
谷中ハウス	0	0	4	3	5	1	13	47.0
綾瀬ハウス	0	1	0	0	1	3	5	52.6
青井ハウス	0	0	1	4	5	0	10	47.9
合計	0	1	5	7	11	4	28	

(3) 利用者数(障害支援区分別)

サービス区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
谷中ハウス	3	7	2	1	0	0	0	13
綾瀬ハウス	0	0	0	4	1	0	0	5
青井ハウス	4	1	4	1	0	0	0	10
合計	7	8	6	6	1	0	0	28

2. 職員の状況

職種	施設長	副施設長	支援員	看護師	理学療法士	事務員	その他	合計
常勤(嘱託含)	1	1	14	0	0	0	0	16
非常勤	0	0	22	0	0	1	0	23
合計	1	1	36	0	0	1	0	39
備考	・内、育児・介護休業等休職者2名 ・他、記載すべき特記事項なし。							

3. サービス評価・リスクマネジメント

(1) サービス評価

- ・苦情解決第三者委員
利用者との面談等を通じた助言によりサービス向上を図っている。 (年間訪問回数:2回)
- ・福祉サービス第三者評価
本年度受審あり (直近受審年度:令和6年度)

(2) リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット53件 事故報告書23件(内、東京都・足立区への報告11件)
リスクマネジメント委員会を構成し、事故報告内容及び再発防止策等の情報共有を実施。

(3) 虐待防止

- 虐待防止委員会及び身体拘束の適正化のための委員会を構成し、自己チェックの実施、並びにその内容を基に内部研修を実施予定。外部研修に参加。

4. 防災・防犯等の緊急時対策

- ・定期的な消防設備点検や備蓄食料等の在庫確認を実施。
- ・火災や地震、水害を想定した訓練を実施。 (年間実施回数:4回)
- ・消防計画・非常災害計画等を整備し、毎年度見直しを実施。

5. 健康管理

(1) 利用者健康管理

- ・日常の健康管理として起床時と入浴前の検温、必要時には通院同行を実施。
- ・内服薬、軟膏塗布、点鼻、点眼、爪切り、軽微な傷の処置等の医療的ケアを実施。
- ・訪問歯科や訪問マッサージ、訪問看護、訪問リハビリを個別契約により利用。

(2) 職員健康管理

- ・9・3月に健康診断を実施。 (検査項目:一般健康診断と腫瘍マーカー検査)

6. 食事提供

- ・個々の状況に応じた食形態、食事量、アレルギー対応の配食サービスを利用し提供。
- ・季節や行事にあわせての行事食、外食の機会の提供。
- ・感染症予防に留意した食事提供の実施。

7. 通所状況

(1) 谷中ハウス

- ・通所バス利用人数:11人(運行台数:4台) ・自主通所:2人

(2) 綾瀬ハウス

- ・通所バス利用人数:0人(運行台数:0台) ・自主通所:5人

(3) 青井ハウス

- ・通所バス利用人数:10人(運行台数:3台) ・自主通所:0人

8. 地域との連携・実習等

(1) 地域行事

- ・個々のニーズに合わせて調整。

9. 職員研修

- ・外部研修(キャリアパス対応生涯研修・東京都障害者虐待防止研修等) (延べ人数:13名)
- ・内部研修(感染予防・介護基礎・虐待防止・個人情報保護・差別解消法) (実施回数:4回)

10. 家族との連携

(1) 保護者会

- ・必要時に適宜連絡を行い各家族との連携を図った。

(2) 個別面談等

- ・個別支援計画の内容やグループホームでの日常生活の様子をお伝えし、ニーズの確認と振り返りの場として個別面談を実施。また、必要に応じて個別支援計画の見直しを実施。

(3) その他

- ・日常生活の中で判断を要する際は各家庭へ連絡・相談し、関係構築に努めた。

11. 広報

・法人ホームページ、SNS掲載 (Instagram、X)

(発行回数:0回)

12. 開催行事

ドッグセラピー、各ハウス調理イベント、暑気払い、年度末イベント

III-1 福祉サービスの提供(谷中ハウス・綾瀬ハウス・青井ハウス「共同生活援助」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

(1) 共同生活援助

- ・感染症予防策の都度見直しを行い、安心した住環境の提供、要望の多い活動を実施。
- ・利用者の嚥下状態に合わせた形態や量で食事提供を行うと共に、行事食の提供を実施。
- ・身体状況に合わせた介助を行うと共に、居室環境の整備や衣替え、健康管理等の支援を実施。

2. 通所施設等利用状況

	谷中ハウス	綾瀬ハウス	青井ハウス	合計
生活介護	12	0	10	22
就労継続支援B型	1	5	0	6
合計	13	5	10	28

III-2 福祉サービスの提供(ショートステイ谷中「短期入所」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

(1) 短期入所

- ・入居時の体調確認等、感染症予防に留意の上、支援を実施。
- ・利用者に一時的に入居して頂き、食事介助・入浴介助・排泄介助・健康管理等のサービスを提供。
- ・安全・安心なサービスが受けられるよう、個々の障がい特性に応じた支援を実施。

2. 利用状況

山口

	本年度	前年度	前年比
利用延べ日数	1,396	1,415	98.7%
実利用人数	58	62	93.5%

III-3 福祉サービスの提供(あいのわ支援センター竹の塚・谷中「居宅介護・重度訪問介護・移動支援」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

(1) 居宅介護

- ・居宅において入浴や排泄、食事介助等の身体的支援の実施。
- ・一人で通院が困難な方を対象に通院同行の支援を実施。
- ・感染症予防策を継続し支援を実施。

(2) 重度訪問介護

- ・重度の障がいのある方で常に支援を必要とする在宅生活の中で、身体的な支援や家事援助等の総合的な支援を実施。

(3) 移動支援

- ・余暇を通して社会参加に繋がるよう、希望に沿った外出先への同行を実施。
- ・公共交通機関を利用した外出も対応。

2. 利用状況

サービス区分	本年度		前年度		増減	
	利用数	時間数	利用数	時間数	利用数	時間数
居宅介護	16	777	16	802	0	△ 25
重度訪問介護	1	43	1	43	0	0
移動支援	29	1,504	35	1,590	△ 6	△ 87
合計	46	2,324	52	2,435	△ 6	△ 112

Ⅲ-4 福祉サービスの提供(あいのわ相談センター「特定相談支援」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

(1) 特定相談支援

- ・訪問による生活状況と個別ニーズの把握を行い、サービス利用等に繋がる相談支援を実施。
- ・足立区相談支援事業所ネットワークの参加による、相談支援専門員の資質向上と連携強化。

2. 利用状況

	本年度	前年度	増 減
契約者数	362	371	△ 9
合 計	362	371	△ 9

令和6年度 事業報告

神明障がい福祉施設

I 総括

1. 年度方針・理念等

～いちにち一日を大切に～

利用者の自己実現を目指し、安心して通所出来るよう支援します

2. 重点課題

- ・コミュニケーションを強化し、各職員が協働して相互に尊重し能力を引き出しあえる組織づくり
- ・階層別・分掌等の役割に基づいた各職員のスキル向上
- ・感染症及び防災に関する実践と整備の強化
- ・地域との繋がりの強化及び、明るく快適に過ごせる施設内環境の整備

3. 総評

年間を通して外部研修受講者からの伝達研修、コミュニケーション強化を目的とした研修やグループワークの実施を通して、各職員のスキル向上や職員間の協働を意識した組織づくりに取り組みました。

利用者の方に安全・安心に施設を利用いただくため、感染対策や防災・防犯訓練の実践しました。

本年度は音楽をテーマとした施設イベントを開催し、利用者だけでなく、地域の方々にも出演・協力していただく中で、地域の方々との交流も深めました。また、近隣他法人のフードパントリーや高齢者宅への食材配達等の地域公益活動に参画する他、地域清掃や近隣小・中学校のイベントへの参加により、地域との繋がりを強化すると共に、施設内ロビーを中心とした環境の整備を行いました。

今後も障がいのある方への理解促進のため、地域に根差した活動を継続的に取り組んでまいります。

II 運営管理

1. 利用者の状況

(1) 利用者数(男女別)

サービス区分	本年度			前年度			増減		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
生活介護(神園)	30	9	39	30	9	39	0	0	0
生活介護(神作)	10	10	20	9	10	19	1	0	1
就労継続支援B型	21	9	30	23	10	33	△2	△1	△3
就労移行支援	7	2	9	5	2	7	2	0	2
就労定着支援	4	5	9	6	4	10	△2	1	△1
地域活動支援センター	22	14	36	21	13	34	1	1	2
合計	94	49	143	94	48	142	0	1	1

(2) 利用者数(年代別)

サービス区分	20未満	20代	30代	40代	50代	60以上	合計	平均年齢
生活介護(神園)	0	8	11	14	6	0	39	39.0
生活介護(神作)	1	6	5	5	2	1	20	36.7
就労継続支援B型	0	8	12	3	3	4	30	42.6
就労移行支援	0	5	2	1	1	0	9	30.6
就労定着支援	0	5	0	2	1	1	9	37.0
地域活動支援センター	0	1	1	1	12	21	36	60.9
合計	1	33	31	26	25	27	143	

(3) 利用者数(障害支援区分別)

サービス区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
生活介護(神園)	20	11	6	2	0	0	0	39
生活介護(神作)	0	4	8	8	0	0	0	20
就労継続支援B型	0	0	2	5	1	0	22	30
就労移行支援	0	0	0	0	0	0	9	9
就労定着支援	0	0	0	0	0	0	9	9
地域活動支援センター	0	0	0	2	0	0	34	36
合計	20	15	16	17	1	0	74	143

(4) 出席状況

サービス区分	本年度					前年度		
	計画数	出席	出席率	延登録	実人員	出席率	延登録	実人員
生活介護(神園)	9,321	7,957	85.4%	39	33.3	85.9%	39	33.5
生活介護(神作)	5,019	4,074	81.2%	21	17.0	84.5%	19	16.1
就労継続支援B型	7,429	6,669	89.8%	31	27.8	81.8%	36	29.4
就労移行支援	2,358	1,781	75.5%	11	8.3	67.9%	10	6.8
地域活動支援センター	2,441	2,014	82.5%	41	33.8	75.6%	38	28.7

2. 職員の状況

職種	施設長	副施設長	支援員	看護師	理学療法士	事務員	その他	合計
常勤(嘱託含)	1	1	27	3	0	2	0	34
非常勤	0	0	16	0	0	0	0	16
合計	1	1	43	3	0	2	0	50
備考	・内、育児・介護休業等休職者 4名 ・他、記載すべき特記事項なし。							

3. サービス評価・リスクマネジメント

(1) サービス評価

- ・苦情解決第三者委員
利用者との面談等を通じた助言によりサービス向上を図っている。(年間訪問回数: 1回)
- ・福祉サービス第三者評価
本年度受審なし (直近受審年度: 令和4年度)

(2) リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット 61件 ・事故報告書 59件(内、東京都・足立区への報告 1件)
リスクマネジメント委員会を構成し、事故報告内容等の情報共有・傾向の分析を実施。
毎月ミーティング内で事故・ヒヤリハット件数を確認し、再発防止のため標語の作成・掲示。
事故報告書マニュアル読み合わせと意識向上に向けた危険予知トレーニングを毎月実施。

(3) 虐待防止

- 虐待防止委員会及び身体拘束の適正化のための委員会を構成し、自己チェックの実施、並びにその内容を基に内部研修を実施。外部の人権研修等に参加。

4. 防災・防犯等の緊急時対策

- ・日常点検及び備蓄食料等の在庫を確認。
- ・避難訓練(地震、水害、カード式)、防犯訓練、消火器・通報訓練を実施。(年間実施回数: 5回)
- ・消防計画・非常災害計画等を整備、毎年度見直しを実施。

5. 健康管理

(1) 利用者健康管理

- ・日常の健康管理として必要時にバイタルチェック・体重・血圧測定を実施、手指消毒の徹底。
- ・服薬介助、座薬挿入、軟膏塗布、点眼、褥瘡処置等の医療的ケアを実施。
- ・嘱託医師による検診を実施。(内科 福祉園: 12回 神作: 6回)
- ・健康診断(血液検査・尿検査・胸部レントゲン: 7月12日)、歯科健診(2月27日)を実施
- ・理学療法士による身体機能維持・向上訓練に関する相談を実施。(年間実施回数: 6回)
- ・日本歯科大学付属病院の歯科医師による摂食指導を実施。(年間実施回数: 3回)
- ・精神保健福祉士による心理相談を実施。(年間実施回数: 6回)

(2) 職員健康管理

- ・年1回の健康診断を実施。(検査項目: 一般健康診断と腫瘍マーカー検査: 7月12日実施)

6. 食事提供

- ・給食委託業者による衛生管理、O157予防策、中心温度測定、細菌検査等の各種点検を実施。
- ・嚥下機能に応じた食形態、及びアレルギー等禁止食材の対応を実施。
- ・給食委託業者との定期協議を実施し、安全でより美味しい給食提供に向けた取り組みを実施。

7. 通所状況

- (1) 神明福祉園
 - ・通所バス利用人数:38人(運行台数:6台) ・自主通所:1人
- (2) 神明福祉作業所
 - ・通所バス利用人数: 0人(運行台数:0台) ・自主通所:59人
- (3) 神明デイサービスセンター
 - ・通所バス利用人数: 32人(運行台数:2台) ・自主通所:4人

8. 地域との連携・実習等

- (1) 地域行事
ふれあい作品展・あしの芽祭・住区まつり・中川北小学校フェス・地域清掃・パントリー支援に参加。
- (2) ボランティア (年間延べ人数:2人)
- (3) 現場実習・介護等体験 (各大学・専門) (年間延べ人数:22人)
- (4) 特別支援学校・在宅者等の実習生 (年間延べ人数:19人)

9. 職員研修

- ・外部研修(強度行動障害研修、第三号研修、権利擁護研修等) (年間延べ人数:28名)
- ・内部研修(虐待防止、リスクマネジメント研修、感染症研修、KYT研修等) (年間実施回数:14回)

10. 家族との連携

- (1) 全体連絡会
神明福祉園、神明福祉作業所ともに年3回実施。
- (2) 個別面談等
利用者の誕生日を基本に6ヶ月(就労移行は3ヶ月)毎、個別支援計画書に関する面談を実施。
- (3) その他
保護者会・父母の会との行事は開催なし。

11. 広報

- ・施設広報誌「なんだかんだ」年5回、「かがやき」年3回発行。各事業所で法人SNS投稿。

12. 開催行事

- ・入所式、地域交流会、全体行事(わくわくイベント)、20歳を祝う会を実施。

III-1 福祉サービスの提供(神明福祉園「生活介護」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

- (1) 1グループ
 - ・機能訓練、リラクゼーション、トランポリン、散歩、調理、創作、レクリエーション等を実施。
 - ・個別活動、合同活動(1・2グループ)を実施。
 - ・外出行事を実施。
- (2) 2グループ
 - ・機能訓練や創作、調理、音楽、散歩、トランポリン、リラクゼーション、レクリエーション等を実施。
 - ・個々のニーズに合わせた個別活動を実施。
 - ・外出行事や季節行事を実施。
- (3) 3グループ
 - ・毎週月曜日、神明南・辰沼地域の古紙回収作業を実施。
 - ・散歩、創作、作業、調理、スノーズレン、農園活動等を実施。
 - ・外部活動(つばさの会トランポリン)に参加。
- (4) 4グループ
 - ・毎週月曜日に神明南・辰沼地域の古紙回収作業を実施。
 - ・散歩、トライ活動、農園、調理、スノーズレン、トランポリン、小外出を実施。
 - ・外部活動(つばさの会トランポリン)に参加。

2. サービス内容(活動別)

- (1) クラブ活動
 - ・新たな経験や学び、交流を目的に、専門講師による療法活動と職員によるクラブ活動を実施。
(トランポリン療法、かなで〜る(音楽クラブ)、うごけ〜る(運動クラブ))

- (2) プール活動
 ・新型コロナウイルス感染症防止のため未実施。 (未実施)
- (3) 営業時間外利用
 ・通常の営業時間外での延長支援サービスの実施。 (年間延べ人数:31人)

III-2 福祉サービスの提供(神明福祉作業所「生活介護・就労継続支援B型・就労移行支援・就労定着支援」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

- (1) 生活介護:かりんグループ
 ・封入封緘や軽作業、自転車清掃、施設外清掃等を実施(3月からポスティング実施)。
 ・散歩、映画、カラオケ、レクリエーション活動、季節行事等を実施。
 ・プロサッカーチーム主催のスポーツ教室に毎月参加。
- (2) 就労継続支援B型:あおぞらグループ
 ・封入封緘作業・組み立て作業・シール貼り作業・PC作業を実施。
 ・施設外清掃として、他施設の清掃や洗車を実施。
 ・毎月工賃発表を実施。
- (3) 就労移行支援:あいのわしごとセンター
 ・就労に向けた訓練プログラムの実施、企業見学3件・企業実習3件の支援を実施。
 ・2名が一般就労。その他、他福祉サービス利用に向けた支援を実施。
 ・法人内施設への就労情報の提供。9月に工場見学実施。
- (4) 就労定着支援:あいのわしごとセンター
 ・過去一般就労した対象者へのフォローアップの実施。
 ・利用者への支援(会社・家庭訪問、来所面談、ICT活用面談) (年間延べ人数:12人)
 ・契約終了者への支援(会社訪問・電話連絡等) (年間延べ人数:19人)

2. サービス内容(活動別)

- (1) クラブ活動
 ・新たな経験や学び、交流を目的に、専門講師によるクラブ活動を実施。
 (レクリエーション・プロサッカーチーム主催のスポーツ教室に参加。)
- (2) 営業時間外利用
 ・通常の営業時間外での延長支援サービスの実施。 (未実施)
- (3) 就労支援・創作活動

サービス区分		本年度(年間)	前年度(年間)	増減
就労継続支援B型	就労支援事業収入	14,258,472	15,514,443	△ 1,255,971
	就労支援事業支出	14,278,605	15,516,532	△ 1,237,927
	(内、工賃支給額)	13,003,360	13,597,110	△ 593,750
	⇒1人平均工賃(月)	38,839	38,410	429
生活介護	就労支援事業収入	1,435,785	1,461,051	△ 25,266
	就労支援事業支出	1,441,046	1,466,316	△ 25,270
	(内、工賃支給額)	1,077,291	1,008,820	68,471
	⇒1人平均工賃(月)	5,281	5,719	△ 438

・主な増減理由

記載すべき大きな変動は該当しない。

III-3 福祉サービスの提供(神明デイサービスセンター「地域活動支援センター」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

- (1) 地域活動支援センター
 ・ボード体操等を実施。リハビリ器具、手摺りを利用したリハビリを実施。
 ・革細工やエコクラフト、切り絵、ボードゲーム等の個別活動を実施。
 ・園芸・調理活動の実施。

2. サービス内容(活動別)

- (2) クラブ活動
 ・新たな経験や学び、交流を目的に、専門講師によるクラブ活動を実施。
 (絵画・気功・音楽・フラダンス・絵手紙・陶芸)

令和6年度 事業報告

足立区大谷田障がい福祉施設

I 総括

1. 年度方針・理念等

～利用者の「働く」「生活」「健康」を支援します～

2. 重点課題

- ・就労支援事業の効率化
- ・利用者出席率向上
- ・将来を見据えた生活に向けた支援への取り組み

3. 総評

足立区大谷田就労支援センターは、4月に1名、8月に1名が新たに利用開始となりました。就労継続支援B型では療養や家庭の事情で欠席が増えた方と通所が安定した方が混在し、通所率は前年度と同水準となりました。生活介護では療養や入院、家庭の事情による長期欠席が増え出席率が減少しました。就労支援事業では官公需作業の拡大や法人30周年記念事業等の作業受注、作業工程の見直しによる効率化により売上が増加し、あわせて平均工賃も大幅に増加しました。

足立区大谷田ホームは、8月に1名、12月に1名の方が利用開始となりましたが、うち1名の方は短期入所利用のため、すでに退居となりました。福祉事務所、医師、受託居宅事業所と連携を図りながら安全・安心に過ごせるための支援を実施しました。

II 運営管理

1. 利用者の状況

(1) 利用者数(男女別)

サービス区分	本年度			前年度			増 減		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
就労継続支援B型	14	15	29	13	15	28	1	0	1
生活介護	7	4	11	6	4	10	1	0	1
共同生活援助	3	1	4	3	0	3	0	1	1
合 計	24	20	44	22	19	41	2	1	3

(2) 利用者数(年代別)

サービス区分	20未満	20代	30代	40代	50代	60以上	合計	平均年齢
就労継続支援B型	0	3	10	6	6	4	29	44.3
生活介護	1	2	1	2	2	3	11	44.3
共同生活援助	0	0	1	0	1	2	4	56.8
合 計	1	5	12	8	9	9	44	

(3) 利用者数(障害支援区分別)

サービス区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合 計
就労継続支援B型	3	2	4	6	3	1	10	29
生活介護	1	2	3	5	0	0	0	11
共同生活援助	1	1	0	0	1	0	1	4
合 計	5	5	7	11	4	1	11	44

(4) 出席状況

サービス区分	本年度					前年度		
	計画数	出席	出席率	延登録	実人員	出席率	延登録	実人員
就労継続支援B型	6,984	5,271	75.5%	29	21.9	75.4%	30	22.6
生活介護	2,638	1,846	70.0%	11	7.7	78.9%	11	8.7

2. 職員の状況

職種	施設長	副施設長	支援員	看護師	理学療法士	事務員	その他	合計
常勤(嘱託含)	1	0	10	1	0	1	0	13
非常勤	0	0	9	0	0	1	1	11
合計	1	0	19	1	0	2	1	24
備考	・その他は、調理員1名							

3. サービス評価・リスクマネジメント

(1) サービス評価

- ・苦情解決第三者委員
利用者との面談等を通じた助言によりサービス向上を図っている。(年間訪問回数:1回)
- ・福祉サービス第三者評価
本年度受審なし(直近受審年度:令和5年度)

(2) リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット2件 ・事故報告書19件(内、東京都・足立区への報告8件)
リスクマネジメント委員会を構成し、事故報告内容及び再発防止策等の情報共有を実施。

(3) 虐待防止

- 虐待防止委員会及び身体拘束の適正化のための委員会を構成し、自己チェックの実施、並びにその内容を基に内部研修を実施。外部の人権研修等に参加。

4. 防災・防犯等の緊急時対策

- ・日常点検及び備蓄食料等の在庫確認実施。
- ・火災や地震、水害、その他不審者の侵入等を想定した訓練を実施。(年間実施回数:9回)
- ・消防計画・非常災害計画等を整備し、毎年度見直しを実施。

5. 健康管理

(1) 利用者健康管理

- ・日常の健康管理として必要時にバイタルチェック・体重測定・血圧測定を実施。
- ・服薬介助、軟膏塗布、点眼、褥瘡処置等の医療的ケアを実施。
- ・嘱託医師による検診を実施。(内科:年間12回、歯科:年間1回)
- ・年1回、健康診断を実施。(検査項目:血液検査・心電図・尿検査・胸部レントゲン)
- ・市川歯科医院の歯科医師による摂食指導を実施。(年間実施回数:4回)

(2) 職員健康管理

- ・年1回、健康診断を実施。(検査項目:一般健康診断+腫瘍マーカー検査)

6. 食事提供

- ・衛生管理の為、点検やO157予防対策、中心温度測定、細菌検査等の対応を実施。
- ・嚥下機能に応じた食形態及びアレルギー等禁止食材の対応を実施。
- ・嗜好調査に結果等を踏まえた給食委託業者との定期協議を実施。
- ・足立区大谷田ホームに関しては食材宅配業者から仕入れを行い、職員による調理対応を実施。

7. 通所状況

(1) 足立区大谷田就労支援センター

- ・通所バス利用人数:13人(運行台数:3台) ・自主通所:27人

(2) 足立区大谷田ホーム

- ・通所バス利用人数:3人(運行台数:2台) ・自主通所・通勤:1人

8. 地域との連携・実習等

(1) 地域行事

- ・地域と共同開催の祭礼を10月に実施。
- ・近隣こども園を招いての芋ほり体験の実施、足立区ゴミゼロ運動へ春、秋参加

(2) ボランティア (年間延べ人数:23人)

(3) 現場実習・介護等体験 (足立東高校バリアフリー体験含む) (年間延べ人数:22人)

(4) 特別支援学校・在宅者等の実習生 (年間延べ人数:5人)

9. 職員研修

- ・外部研修(東京都福祉保健局主催研修等) (年間延べ参加人数:35人)
- ・内部研修(虐待防止・個人情報保護・感染症予防・人権擁護等) (年間実施回数:8回)

10. 家族との連携

- (1) 保護者会
 - ・利用者本人の意思を尊重する為、保護者会等は未設置。
- (2) 個別面談等
 - ・利用者の誕生日を基本に6ヶ月毎、個別支援計画書に関する面談を実施。
- (3) その他
 - ・新型コロナウイルス感染防止対策のため父母の会バザー等開催なし。
 - ・足立区大谷田ホームに関しては日中活動先やヘルパー事業所との連携を実施。

11. 広報

- ・施設広報誌「OH! YATTA!!」の発行 (年間発行回数:2回)

12. 開催行事

- ・地域共同開催祭礼・小グループ外出・東洋大学交流授業・地域清掃

III-1 福祉サービスの提供(大谷田就労支援センター「就労継続支援B型・生活介護」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

- (1) 就労継続支援B型
 - ・印刷やデータ加工、ホームページ制作、商品販売、データ入力、軽作業、自転車整備、封入封緘、洗濯、清掃等の受注作業を実施。
- (2) 生活介護:作業訓練型
 - ・軽作業や洗濯、封入封緘等の受注作業を実施。
- (3) 営業時間外利用
 - ・通常の営業時間外での延長支援サービスの実施。 (年間延べ人数:0人)

2. サービス内容(活動別)

(1) 就労支援・創作活動

サービス区分		本年度(年間)	前年度(年間)	増減
就労継続支援B型	就労支援事業収入	24,267,424	23,923,497	343,927
	就労支援事業支出	24,267,424	23,923,497	343,927
	(内、工賃支給額)	14,705,552	13,871,935	833,617
	⇒1人平均工賃(月)	55,957	49,401	6,556
生活介護	就労支援事業収入	1,732,764	1,206,132	526,632
	就労支援事業支出	1,732,764	1,206,132	526,632
	(内、工賃支給額)	1,500,940	1,164,208	336,732
	⇒1人平均工賃(月)	16,244	11,151	5,093

・主な増減理由

官公需・法人30周年記念事業等の作業受注増加、及び作業工程見直しによる効率化によるもの。

III-2 福祉サービスの提供(大谷田ホーム「共同生活援助」)

1. サービス内容(サービス区分・グループ別)

- (1) 共同生活援助
 - ・統一した支援が行われるよう、必要に応じて関係機関と情報共有、カンファレンスを実施。

2. 通所施設等利用状況

	人数
生活介護	2
地域活動支援センター	1
一般就労	1
合計	4